

単元名

もっとお米を知ろう！プロジェクト

～お米のパワーをスペシャル番組でPRしよう～

平成28年10月3日
男子10人 女子16人
計26人

本単元で育成する資質・能力

「和の文化を受けつぐ～和菓子をさぐる～」(東京書籍)

自己理解・自らへの自信

(資質・能力ルーブリックレベルⅣ)

1 単元について

I : 【考え・基礎知識】

和の文化に関する筆者の考えを観点や構成、資料の使われ方に着目して読み取る。

C : 【つながり】

読み取ったことを生かして、自分たちが育てている米の文化・パワーについて調べて原稿を作る。

E : 【応用・ひろがり】

米の文化・パワーについて伝える特集番組を収録して、4年生と地域に発信する。

児童の実態

- ★ 「授業では、自分の考えを積極的に伝えていきます」という質問に肯定的な児童は54%である。 —①
- 平成28年度広島県「基礎・基本」定着状況調査において、資料を活用して答える問題の平均通過率は42.3%である。 —②
- 目的をもって読書をし、本や文章から必要な情報を選ぶという経験は少ない。 —③

教材について

- 筆者の考えが複数の観点から書かれた説明文である。
→ 自分の課題について、情報を集める観点を参考にすることができる。
- 構成が分かりやすく、資料が活用されている説明文である。
→ 自分の考えの構成や、どんな資料をどのように活用するかについて参考にすることができる。
- プレゼンテーションの原稿例がある。
→ 分かりやすい説明の仕方を具体的に学ぶことができる。

育成したい資質・能力と目標 ★【資質・能力】 ○【国語科】○【国語科重点目標】

- ★ 学習の過程や成果から、達成感や自信をもち、学ぶことの意味や価値を考えることができる。 【自己理解・自らへの自信 資質・能力ルーブリック レベルⅣ】
- 助言や提案をし合い、説明をよりよいものに行おうとしている。 【国語への関心・意欲・態度】
- 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら場に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。 【話すこと・聞くこと イ】
- 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができる。 【話すこと・聞くこと エ】
- 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むことができる。 【読むこと カ】
- 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ (キ)】

パフォーマンス課題とその特徴

総合的な学習の時間に取り組んでいる「米づくり」と関連付けて、「お米の文化やパワーについて、4年生や地域の方に特集番組でPRする」活動を設定する。特集番組は、視聴者に分かりやすく伝えるために、取材をした情報を整理し、資料等を活用しながら説明するものである。実生活につながる「自分たちの育てた米の文化やパワーを4年生や地域の方に伝えるために」という目的と相手を明確にもって特集番組作りをすることにより、主体的に必要な情報を収集・整理・分析し、効果的な構成や資料の活用の仕方を考える力を付けることができる。また、4年生に原に残った最後の田んぼで「米づくりがしたい、しなくては」と思ってもらえるような内容・伝え方についての意見交流を通して、本単元で付けたい資質・能力を確実に育成できると考える。

指導のポイント

- ① 「みんなの力でお米の特集番組を作る」という意識をもたせ、よりよい番組になるように相互に助言し合い、それを生かして改善する場面を作り、学び合う意味や価値に気付くようにする。
- ② どんな資料をどのように活用して説明するのかということを考える学習過程で、交流をして資料の必要性や効果に気付かせる。
- ③ 自分の課題を解決するために、本や文章を読むという必然性をもたせる。

2 単元の評価規準

資質・能力 【自己理解・自らへの自信】	★ お米の特集番組づくりを通して、自分やペアグループの原稿や発表の改善点や良さを知り、相互に学ぶことの意味や価値に気付いている。 【原小学校 資質・能力ルーブリック レベルⅣ】		
国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○ 友達と発表を聞き合い、よりよいものになるように助言や提案をしようとしている。	◎ 自分の伝えたい内容が視聴者に明確に伝わるように構成を工夫し、資料を効果的に活用して説明している。(イ) ○ 話し手の意図がより伝わるようにするために、修正点を考えながら聞き、具体的にはどうすればよいかを考えて助言・提案している。(エ)	○ 自分の設定した課題について、調べたいことを複数の本や文章などを比べて読み、観点に沿って必要な情報を選んでいる。(カ)	○ 文章のいろいろな構成について理解している。 イ (キ)

3 単元の計画 (全12時間)

次	時	学習内容	評価			
			関	話	読	言
単元前		<p>(総合的な学習の時間)</p> <p>課題の設定 (総)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の米作りや収穫した米をどうするのかについて話し合う。 <p>収穫したお米をどうする？</p> <p>米づくりの目的は、原小の伝統を守り、原で最後の田んぼを4年生に引き継ぐことだったよね。</p> <p>みんなで料理をして食べたいね。どんな料理ができるか調べてみようよ。</p> <p>どんな形で4年生に伝えるか、具体的に話し合おう。</p>				<p>○教科の評価規準 (評価方法)</p> <p>★資質・能力の評価規準 (評価方法)</p> <p>(何のために米づくりをしたのか、どのように米づくりをしてきたか、これまでの写真を見ながら振り返り、そのつながりから今後の活動を考えられるようにする。)</p>
	1	<p>情報の収集 1 教材文から</p> <ul style="list-style-type: none"> 米について調べる観点について、教材文から読み取る。 <p>課題の設定 (国)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際の特集番組を見て、情報を伝えるための工夫に気づき、自分たちも作成したいという意欲をもつ。 教材文を特集番組の原稿に書きかえる。 				<p>◎ 文章構成を基に、「和の文化」に対する筆者の考えと米について調べる観点を読み取っている。(ノート・児童観察)</p> <p>○ 文章構成について理解している。(ノート・児童観察)</p> <p>◎ 実際の特集番組の伝え方を知り、自分達も作成しようという意欲をもっている。(ノート・児童観察)</p> <p>○ 特集番組の伝え方の工夫や話し言葉と書き言葉の違いに気付いている。(ノート・児童観察)</p>
	2	<p>情報の収集 2</p> <ul style="list-style-type: none"> 米について設定した課題のグループごとに、いろいろな本や資料で観点到に沿って調べる。 <p>◎必要な情報を選んだり組み合わせたりして、説明する内容と構成を考える。</p> <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表原稿を作成する。 伝えたい内容が明確に伝わる原稿の構成や資料の使い方になっているかを考える。【本時】 助言を受けたことを基に、資料や原稿の修正を行う。 				<p>○ 自分の設定した課題について、調べたいことを複数の本や文章などを比べて読み、必要な情報を選んでいる。(ノート・児童観察)</p> <p>○ 説明の構成や資料の使い方に注意して、発表原稿を作っている。(ノート・児童観察)</p> <p>○ 自分の伝えたい内容が視聴者に明確に伝わるように、視点到に沿って原稿の構成や資料の効果や改善点を具体的に書き込んでいる。(拡大原稿・ノート・児童観察)</p> <p>★ お米の特集番組づくりのための交流を通して、自分やペアグループの原稿や資料の改善点やよさを知り、相互に学ぶことの意味や価値に気付いている。【自己理解・自らへの自信】(振り返り・児童観察)</p> <p>○ 友達の助言や提案を生かして説明をよりよいものにしてしようとしている。(ノート・児童観察)</p>
	3	<p>まとめ・創造・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 各班の発表をまとめて全体の構成を考える。 友達同士で助言し合いながら発表の練習を行う。 <p>◎特集番組を収録する。</p> <p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 「原っ子マイスターカード」の「自己理解・自らへの自信」の視点により振り返りを書く。 				<p>○ 自分たちの特集番組の意図がより伝わるようにするために、各班の発表をどの順番にすればよいか、その理由を考えている。(ホワイトボード・ノート・児童観察)</p> <p>○ 話し手の意図がより伝わる説明にするには、どこをどのように修正すればよいかを助言しようとしている。(ノート・児童観察)</p> <p>★ お米の特集番組づくりのための交流を通して、自分やペアグループの発表の改善点やよさを知り、相互に学ぶことの意味や価値に気付いている。【自己理解・自らへの自信】(振り返り)</p> <p>○ 学習を振り返って4年生に向けて発表することへの意欲や学習したことで今後に生かしていきたいことについて、自分の意見をまとめている。(振り返り)</p>
単元後		<p>実行 (総合的な学習の時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「三ツ池交流会」で制作したテレビ番組を放映する。 4年生への説明会で制作したテレビ番組も使って米作りについて説明する。 <p>伝えたいことが伝わって良かった。</p> <p>4年生に原小の伝統を引き継いでもらえるね。</p>				

4 本時の展開 (本時 8/12)

(1) 本時の目標

- ★ 交流を通して、相互に学ぶことの意味や価値に気付くことができる。
【資質・能力/自己理解・自らへの自信】
- 発表する事柄が明確に伝わるように、発表原稿の構成や必要な資料を考えることができる。
【国語科/話すこと・聞くこと イ】

(2) 本時の展開

	学習活動	◇指導上の留意点 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への手立て	評価規準 (評価方法) ○教科の指導事項 ★資質・能力
課題の設定	1 本時のめあてを確認する。	◇ 児童と共に立てた学習計画を確かめ、何のために本時の学習をするのか、目的意識をもって学習に取り組めるようにする。	たくさんの情報が集まったね。
	4年生により内容が伝わる番組になるように、原稿や資料を見直し、改善点を見つけよう。		
情報の収集	2 ペアグループで原稿と資料を見合い、助言し合う。	◇ 見直す視点を確認し、視点に沿って助言させる。 ○話の筋道は通っているか。(伝えたいこととのつながり) ○資料にはどんな効果があるか。 ○資料の過不足はないか。	この資料で4年生に伝わるかな。友だちに聞いてみたいね。 原稿や資料はぼくたちの伝えたいこととつながっているかな。
	3 グループで助言されたことを基に改善するところを考える。	◇ お米についての知識が少ない4年生にも分かりやすい原稿や資料になっているか、考えさせる。 ◆ 友達の考えを聞いて、自分の考えをもてるようにする。 ◆ 資料の種類を示した掲示物を参考にさせる。	なるほど。その資料の方が説得力があるよね。
整理・分析	4 ペアグループで改善点を発表し合う。	◇ 改善点を原稿に書き込ませる。	資料をもっと集めないといけないね。
	5 学習のまとめをする。 【まとめの例】	◇ 改善点とその理由を明らかにして説明させる。 ◇ 資料を選んだ理由が伝わっていた場合もそのよさを説明させる。	結論につながるような事例や数値を入れよう。
まとめ	6 本時を振り返り、次時につなげる。 【振り返りの例】	◇ 単元のゴールとつなげて「見通し」「自己理解・自らへの自信」の視点で振り返らせる。	○ 自分の伝えたい内容が視聴者に明確に伝わるように、視点に沿って原稿の構成や資料の効果や改善点を具体的に書き込んでいる。 (ノート・児童観察) ★ お米の特集番組づくりのための交流を通して、自分やペアグループの原稿や資料の改善点やよさを知り、相互に学ぶことの意味や価値に気付いている。 (振り返り・児童観察)
	わたしたちは、「原の米・日本の米の現状」グループです。よかった資料は、農家人口のうつりかわりのグラフを入れたことです。4年生にこのままでは日本の米作りは大変だ、だから米作りを受けつがないといけないと思ってもらえると思います。 改善点は、農家人口のうつりかわりのグラフだけでなく、農業をしている人の年齢別のグラフも入れることです。農家人口も減っており、さらに農業をする若い人の人数がとても少ないことに気付いたら、4年生へも原小学校に水田を残したいという思いが高まると思うからです。		
振り返り	ぼくの、農業をしている人の年齢別のグラフを入れた方が良い、というアドバイスが、改善点に生かされていました。自分の意見が役に立ってうれしかったです。また、ペアグループの人が自分たちの気付かなかったことを教えてくれたので、ぼくたちのグループの原稿もパワーアップしました。これで4年生にも分かりやすい番組になりそうです。		


5 板書計画

振り返り

まとめ

見直しポイント

めあて



自己理解・自らへの自信

もっとお米を知ろう！プロジェクト～お米のパワーをスペシャル番組でPRしよう～

拡大原稿
(改善点が書き込まれたもの)

①話の筋道は通っているか。
(伝えたいこととつながっているか。)

②資料にはどんな効果があるか。

③資料の過不足はないか。

資料の例

- ・写真
- ・動画
- ・グラフ
- ・図・表
- ・絵
- ・実物
- ・年表

四年生により伝わる番組になるように、原稿や資料を見直し、改善点を見つけよう。

6 資質・能力ルーブリック

自己理解・自らへの自信	判断基準
A	交流を通して、原稿の構成と資料の効果や改善点が分かり、相互に学ぶことの意味や価値を具体的に述べている。
B	交流を通して、原稿の構成と資料の効果や改善点が分かり、相互に学ぶことの意味や価値に気付いている。
C	交流を通して、相互に学ぶことの意味や価値に気付いていない。